

会 議 録

会議の名称	平成28年度第7回 藤岡地域会議
開催日時	平成29年3月28日午後6時30分開会・午後7時40分閉会
開催場所	藤岡総合支所旧議会棟 会議室
出席者氏名	別紙のとおり
欠席者氏名	別紙のとおり
事務局職員職氏名	別紙のとおり
その他出席者等	別紙のとおり
会議事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木市公共施設適正配置計画（案）について（公共施設再編課情報提供） ・ まちづくり実働組織認定申込について（地域づくり推進課意見聴取） ・ その他 <p style="text-align: center;">地域予算提案事業計画書にかかる予算措置の結果について</p>
会議の公開又は非公開の別	公開
傍聴人の数	無し
その他必要事項	無し
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
◎副会長 ○公共施設再編課	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>※会長欠席のため、副会長が職務代理として議長役を務めた。</p> <p>（1）栃木市公共施設適正配置計画（案）について（公共施設再編課情報提供）</p> <p><説明></p> <p>担当課に対し、協議事項の説明を求めた。</p> <p>資料に基づいて説明した。</p>
◎副会長 ◎A委員 ○公共施設再編課	<p><質疑・意見等></p> <p>委員に対し、意見を求めた。</p> <p>公共施設の再編については、利用頻度等のデータを考慮して計画を進める旨の説明があったが、それでは人口の多い地域に有利になってしまうのではないかと懸念を述べた。</p> <p>一極集中にならないように施設を分散させることも考えて進めていただきたい。</p> <p>今回の適正配置計画は用途毎に縮減計画を定めたものである。各地域同様の機能を持つ施設が散在しているが、基本的に同じ用途の施設は同じ考えで縮減を進めたいと考えている。ただし、地域性もあるため、地域の皆さんの意見を聞きながら個別計画の中でご発言のような懸念を払拭できるよう計画づくりをしていきたいと考えている。</p>

◎B委員	藤岡地域にとって渡良瀬遊水地は宝物である。以前、藤岡遊水池会館をハートランド城という形で整備するという将来像を聞いた際、夢を感じた。今回、施設の統廃合や新施設の整備に躊躇するような話を聞くと、夢も語れない地域になってしまう、市民の体温が感じられないような施設配置になってしまうのではないかと懸念される。夢を萎ませるような形での統廃合はしないでいただきたい。
○公共施設再編課	従来、行政は右肩上がりに施設を整備してきたが、今後は利用頻度の低い施設の統廃合を前提に新たな施設の整備をすることを考えている。例えば、観光について、藤岡地域であれば渡良瀬遊水地であるが、そうした観光や文化的施設も一つの評価基準を適用することを考えている。ただし、考え方としては、地域毎に統廃合する対象施設を選択するのではなく、市内全域を通してどの施設を統廃合すべきかをご意見を聞きながら決定していくこととなる。
◎C委員	資料の中に栃木市で整備予定の美術館の記載がないのはなぜか。
○公共施設再編課	お配りした資料は、平成27年4月1日時点で市が所有する公共施設を掲載したもので、今後整備予定の施設は含まれていないことをご了解いただきたい。なお、ご発言の文化芸術館については、市民文化施設になる。
◎D委員	市民アンケートを行った際の対象者を7千人にした根拠はどこにあるのか。
○公共施設再編課	一般にアンケート調査をする場合、人口10万人を超える場合は人口の1パーセントのサンプル数が必要とされている。栃木市の人口は約16万人であり、回答率が30パーセントとして人口の1パーセントの回答を確保するための数字として、無作為抽出した7千人を対象人数とした。
◎A委員	資料12ページのスポーツ施設についてだが、藤岡渡良瀬運動公園が含まれていない理由はどのようなものか。
○公共施設再編課	この計画は、建物を対象にしている。藤岡渡良瀬運動公園には建物が無いために資料に含まれていない。
○公共施設再編課	今回、地域会議に情報提供をさせていただいた趣旨を最後に補足させていただきたい。いわゆる公共施設の更新問題と言われるように、市の人口が今後30年間で25パーセント減ると見込まれる中、現在、市の所有する施設を減らしていかないと施設の無駄が発生し財政的に立ち行かなくなるところに来ている。そこで、子や孫の世代も栃木市で生活できるように公共施設の効果的な建て替えをして行くということが趣旨である。個別の施設をどうするかということではなく、右肩上がりに施設を建てる発想を止める転換期にあるのだということを説明しに伺ったことを申し上げておく。
◎副会長	他に意見等がないため、議事の終了により公共施設再編課に退席を求めた後、次の議題に入ることを述べた。
◎副会長	(2) まちづくり実働組織認定申込について(地域づくり推進課意見聴取) <説明> 事務局に対し、協議事項の説明を求めた。

○事務局	資料に基づいて説明した。
◎副会長	<質疑・意見等> 委員に対し、意見を求めた。
	— 意見等なし —
◎副会長	では、まちづくり実働組織認定申込については、適当である旨回答することによろしいか。
	— 了承 —
◎副会長	事務局に所要の手続きをするよう求め、議事の終了により次の議題に入ることを述べた。
	(3) その他
	・地域予算提案事業計画書にかかる予算措置の結果について
◎副会長	<説明> 事務局に対し、協議事項の説明を求めた。 資料に基づいて説明した。
	<質疑・意見等>
◎副会長	委員に対し、意見を求めた。
◎E委員	事務局への要望であるが、前年度提案した「田中正造翁銅像周囲整備事業」と「観光案内看板整備事業」について、地域会議としていろいろと意見を出して事業提案し、今年度完成したところである。については、大々的なセレモニーとは言わないが、事業として完了した際には委員で確認し喜び合うような機会があれば今後の励みになると考える。次回はご配慮をいただきたい。
○事務局	今後は担当課と協議の上で意向に添えるよう努めてまいりたい。
◎副会長	遊水地の案内看板については5か所完成した訳であるが、その点を発信して行く必要がある。その点、市には考慮をしていただきたい。
◎A委員	本日の資料の観光案内看板整備事業を報じた新聞記事であるが、せめて「藤岡地域会議」の一言でも盛り込んでいただけなかったのかと残念に思っている。
◎E委員	観光案内看板のデザインについて、渡良瀬遊水地キャラクターをすべて使うことができたのか。
○事務局	看板裏面のデザインについては、設置場所ごとに3から4体ずつのそれぞれ異なるキャラクターを使用し完成した。
◎副会長	その他に意見等が出されなかったため、議事の終了により以降は事務局が進行する旨を述べた。

○事務局	4 その他 委員に対しその他の協議事項の有無について確認した。
◎副会長	— 栃木市市民会議の出席報告 —
○事務局	5 閉会 午後7時40分をもって第7回藤岡地域会議を閉会する旨を宣言した。

別紙 出席者及び事務局職員

出席者（委員）

副会長	田中 廣	委員	飯塚 俊
委員	山土家 力	委員	池田 昇
委員	石川悦史	委員	関口定幸
委員	田中 潤	委員	酒井一則
委員	福地智子	委員	山土家光幸
委員	萩原 繁	委員	町田佳子

欠席者（委員）

会長	小曾根 慎一	委員	小笠原 義仁
委員	田村孝子	委員	毛塚 麻由美

出席者（事務局）

総合政策部藤岡地域づくり推進課（藤岡地域まちづくりセンター）

飯塚 勝（課長）	山市 進（主幹兼地域づくり推進係長）
亀田 ミユキ（主査）	五十畑 文寛（主査）

出席者（担当課）

財務部公共施設再編課

島田 隆夫（課長）	海老沼 博行（課長補佐）
堀江 裕美（主査）	